

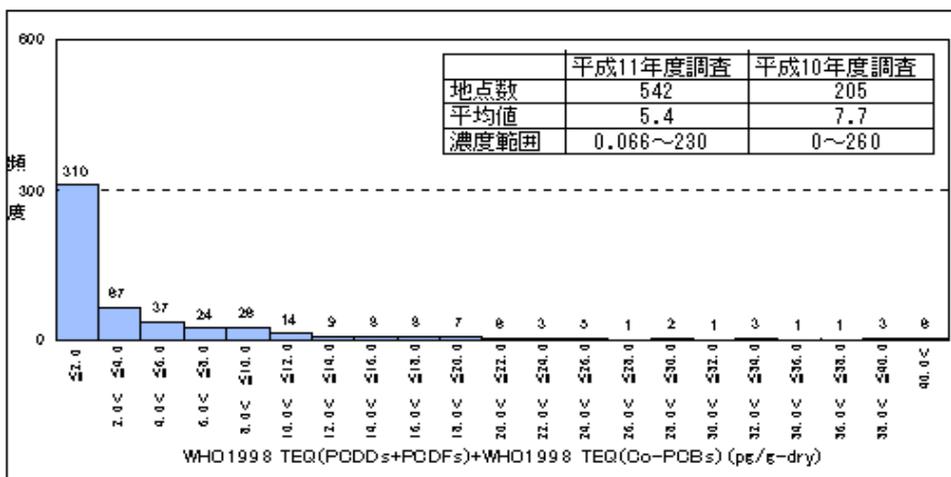
図表 1

(参考)平成 11 年度公共用水域における底質及び水生生物のダイオキシン類濃度調査結果

公共用水域底質

底質については、全国 542 地点で調査を実施した。

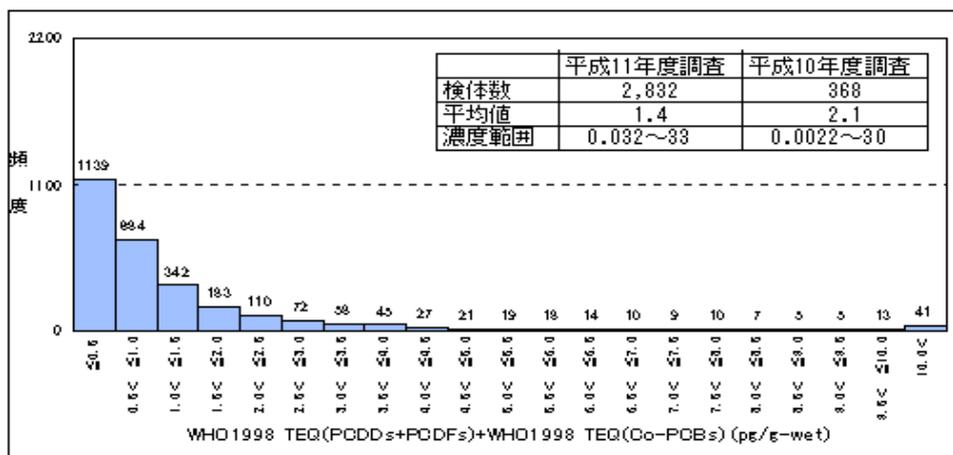
ダイオキシン類濃度の平均値は 5.4pg-TEQ/g で、平成 10 年度調査結果 (平均 7.7pg-TEQ/g) より低く、濃度範囲は 0.066 ~ 230pg-TEQ/g で、平成 10 年度調査結果 (0 ~ 260pg-TEQ/g) の範囲内であった。



水生生物

水生生物については、全国 543 地点 2,832 検体で調査を実施した。

ダイオキシン類濃度の平均値は 1.4pg-TEQ/g で、平成 10 年度調査結果 (平均 2.1pg-TEQ/g) より低く、濃度範囲は 0.032 ~ 33pg-TEQ/g で、平成 10 年度調査結果 (0.0022 ~ 30pg-TEQ/g) とほぼ同程度であった。



(出典)平成 11 年度公共用水域等のダイオキシン類調査結果について (平成 12 年 8 月 25 日環境省発表)